



《図書館利用者カード有効期限更新のお願い》



利用者カードの有効期限は3年です。

有効期限を過ぎると更新手続きが終了するまで利用できなくなりますので、ご注意ください。

【対象となる人】

新規利用登録または前回更新から3年を過ぎた方・3月に小学校を卒業される方  
※更新時期が近づいた人には図書館窓口でお知らせします。

更新手続きは登録内容の確認のみです。利用者カードは、そのままお使いいただけます。

【手続きの方法】

利用者カードと氏名や住所が確認できるものをお持ちください。(免許証・マイナンバーカード等)  
登録内容に変更があったときは、変更の手続きが必要です。



新刊案内

《小説》

《その他》

- 『藍を継ぐ海』 伊与原新(著) 新潮社
- 『京屋の女房』 梶よう子(著) 潮出版社
- 『昇華』 今野敏(著) 光文社
- 『謎の香りはパン屋から』 土屋うさぎ(著) 宝島社
- 『秘仏の扉』 永井紗耶子(著) 文藝春秋
- 『ヒポクラテスの困惑』 中山七里(著) 祥伝社
- 『大人の流儀 12』 伊集院静(著) 講談社
- 『晴れの日散歩』 角田光代(著) 新潮社
- 『ブレない心の磨き方』 植西聰(著) ロングセラーズ
- 『新・古代史』 NHK スペシャル取材班(著) NHK 出版
- 『人は話し方が9割 2』 永松茂久(著) すばる舎
- 『コシノ三姉妹』 コシノヒロコ(著) 中央公論新社
- 『イヤイヤ期のトリセツ』 ふじこせんせい(著) 講談社
- 『製本家とつくる紙文具』 永岡綾(著) グラフィック社

《電子書籍》 ※パソコンやタブレット、スマートフォンから電子書籍を借りて読むことができます

- 『話し方は7日間でわかります。』 野口敏(著)・ゆーぱぱ(漫画) Gakken
- 『ケイ山田のガーデンパレット』 ケイ山田(著) KADOKAWA
- 『カフェどんぐりで幸せ朝ごはん』 栗栖ひよ子(著) KADOKAWA
- 『サブスクの子と呼ばれて』 山田悠介(著) 河出書房新社



3月

日	月	火	水	木	金	土
🌸	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸

4月

日	月	火	水	木	金	土
🌿	🌿	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	🌿	🌿	🌿

おはなし会(会場:本館) 🐣 0~2歳くらい(11:00~) 📖 3歳くらいから(11:00~)

休館日 毎週月曜日 毎月最終木曜日 開館時間 本館 10:00~18:00 分室 12:30~17:00

※最新の情報はホームページをご確認ください。



## 図書館員おすすめの本



### 『小公女たちのしあわせレシピ』

谷 瑞恵(著) 新潮社(2023)



ホテル住まいだった老女メアリさんが遺した児童書『小公女』から、ホテルの娘づくみが、生前の謎多きメアリの足跡を辿っていく連作短編集。『秘密の花園』『不思議の国のアリス』など有名な児童文学と、その作品に登場するお菓子がとても美味しそうな物語です。[しっぽ]

### 『論語と算盤』

渋沢 栄一／著 筑摩書房(2010)



渋沢栄一は幕末から昭和まで生き抜いた起業家です。彼の基盤となった「論語」とは、孔子が説いた道徳で彼が幼少期から貫いてきた指針でもあります。10章から成り立っているこの本は、今からのビジネスパーソンに読んでもらいたい一冊です。[凜]

### 『60歳からへたれない生き方』

有馬 頼底(著) 幻冬舎 (2018)



人生、半世紀生きている方々、第二(三)の人生に入っている方々には、特にお薦めの本です。小説ではないので、軽く読み進められますが内容は、頷けます。少し心が、軽くなれる一冊です。[十兵衛]

### 『蔦屋重三郎』 時代を変えた江戸の本屋

別冊太陽 日本のこころ 319

鈴木俊幸(監修) 平凡社 (2024)



江戸の文化が華ひらいた影には、吉原に育てられた蔦屋重三郎の働きが大きい事を知りました。世の中を明るくした人々の博識の高さにも驚きを隠せずにあります。楽しく江戸の一面を知る内容満載の一冊です。[S]

### 『ワケあり式部とおつかれ道長』

奥山景布子(著) 中央公論新社(2023)



源氏物語を生んだ紫式部や平安時代の政治の頂点に立った藤原道長などは、どんな人生を送ってきたのでしょうか。本人にインタビューするという形で進むお話は、読みやすいので入門書にピッタリです。[Ma]

### 『宙わたる教室』

伊与原新(著) 文藝春秋 (2023)



定時制高校に通う生徒たちがさまざまな事情を抱えながらも、それを乗り越え、実験に取り組み、失敗しながらもみんな、考えを出し合っ一つひとつ進んでいく様子に勇気づけられました。[Dream]



少しずつ日が長くなって春が近づいている気がします。3月は季節の変わり目でもあり、環境が変わる人も多い時期です。体調を崩さないように気をつけていきましょう。[Ma]



電子図書館



みやこ町図書館HP